

楽典「音名」テスト対策 (5分で音名が読めるようになる裏ワザ)

音名読みの問題は得点源◎

音名読みの問題って？

音名（おんめい）とは、つまり「ドレミファソラシド・・・」という音の名前のこと。
(正確には、イタリア音名というよ。)

音楽の定期テストでは、五線譜（ごせんぷ）（5本線の楽譜のこと）に音符が書かれていて、「この音の名前はなんでしょう？」という問題が出たりするよね。

「楽典問題（がくてんもんだい）」とも言われたりするね。
ピアノなどの楽器をやっている子ならともかく、そうでない場合は苦手になっちゃうよね。

音名を覚えるために、音名カードをひたすら暗記したり・・・
音名の書いてある一覧表を丸暗記したり・・・

カードで覚えたり..



こんな表を丸暗記したり..



僕はとくに楽器もやっていないし丸暗記するのは大変...

丸暗記するのは大変だよ！！もうあきらめよう・・・ となってしまうよね。



でも、音名を答える問題は毎回のテストに出ることが多いし、問題数も多いから、これが正解できるだけで大幅な点数アップが狙える「コスパ◎な問題」なんだ。全問正解できるようになれば、かなり有利だよ。

音楽が苦手でも、すぐに音名が読めるようになる裏ワザを紹介するよ。

音名が5分で読めるようになる裏ワザ

まずは「いろはにほへと」と「ドレミファソラシド」の関係を覚えよう！

「いろはにほへと」という文は知っているよね？有名な「いろは歌」の出だしの7語だね。

音名は「ドレミファソラシド」で習うよね。でも、これって実はイタリア語なんだ。

日本ではもともと、音名には「はにほへといろは」を使っていたんだよ。

「はにほへといろは」とは、「いろはにほへと」を「は」から並び替えたものだね。つまり、「ドレミファソラシド」と「はにほへといろは」の関係はこうなるよ。

イタリアの音名と日本の音名の関係

「は」=「ド」
「に」=「レ」
「ほ」=「ミ」
「へ」=「ファ」
「と」=「ソ」
「い」=「ラ」
「ろ」=「シ」
「は」=「ド」



どうして「いろはにほへと」じゃなくて、「はにほへといろは」なのかわかるかな？

ちゃんと説明するとすごく長くなるから、ザックリ言うと、昔、「ラ」の音を基準に音階が作られていったんだ。音名をアルファベットで書くと、やっぱりラが「A」になっているんだよ。

「はにほへといろは」がしっくりこない場合は、
「は＝ド」だけでいいので覚えてしまおう。
「は」が「ド」になることを覚えていれば、あとは順番通りに並べればいいだけだからね。

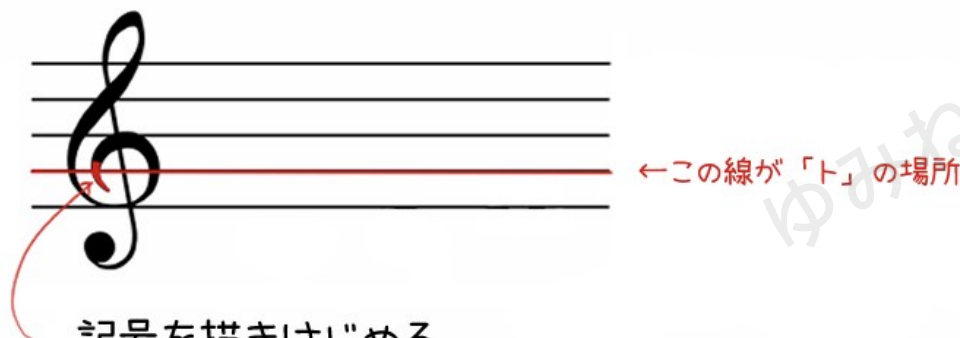
「音名を読むのはハード（難しい）」と覚えるのがいいかもね！
「は」が「ド」になることを覚えてもらえたら、いよいよ「どうやって音名を読むのか」解説するよ！

ト音記号の場合の音名の読み方

まずト音記号の楽譜の場合。

ト音記号って、実は記号のはじまりの部分が「ト」の場所になっているんだ。

ト音記号



記号を描き始める

ココの部分が「ト」の場所になっているよ



その「ト」の場所をもとにして、「いろはにほへと」をしたから順番に書き込んでみよう。（もちろん書き込まなくて頭の中だけで数えてもいいよ）
線の上→線と線の間→線の上・・・となるように気をつけてね。

「ト」の場所をもとにして、「いろはにほへと」を楽譜に書きこもう。

下から上に向かって「いろはにほへと」の順番になるようにしてね。線の上・線の間・線の上・・・と書いていくよ。

読みたい音符はどの場所にいるかな？

音符が「いろはにほへと」のどの場所にいるか分かったら、あとは「ドレミファソラシド」に直すだけ。

例えばココに音符があったら、ココは「ニ」の場所なので..

ここをそろえるときハ=ドを思い出してね

ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド

つまり、この音は「レ」とわかる!!

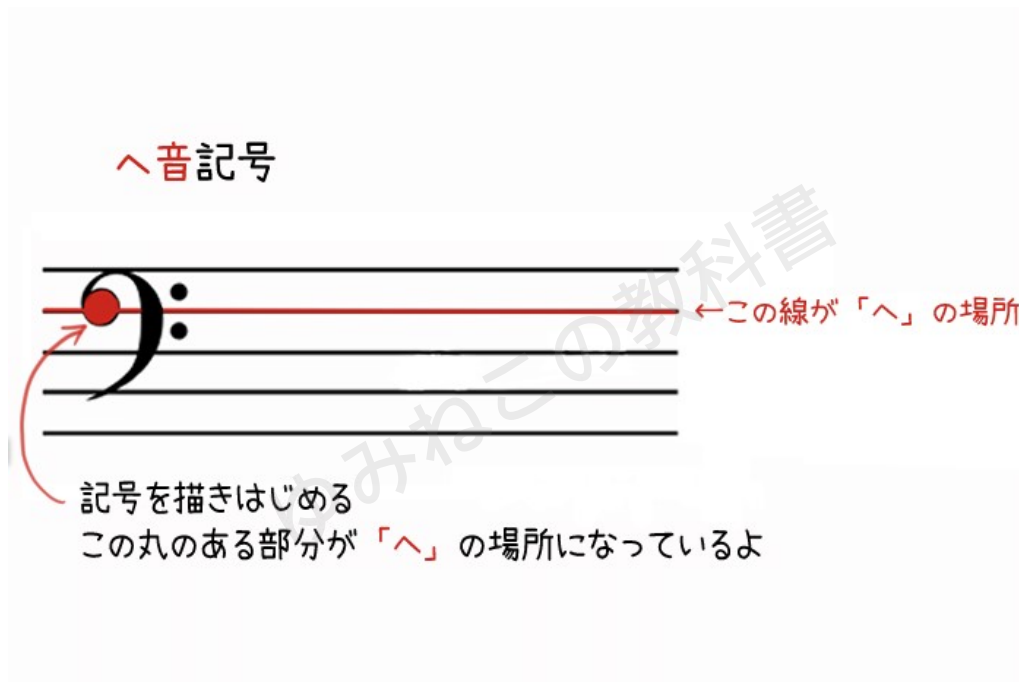
これでカンタンに音符が読めるね！



へ音記号の場合の音名の読み方

今度はへ音記号。

へ音記号も、やっぱり始まりの●の部分が、「へ」の場所になっているんだ。



ということは、あとはト音記号の時と同じ。

「へ」の場所を基本に、「いろはにほへと」を書き込もう。



あとは、ト音記号の時と同じように、音符が「いろはにほへと」のどこにいるかを見て、ドレミファソラシドに直すだけだよ。



音符を読むために覚えること3つ

- 「は」=「ド」になること
- 「ト音記号」の記号の始まり部分が「ト」ということ
- 「ヘ音記号」の記号の始まり部分が「ヘ」ということ

音楽楽典テストで音名を答える問題が出たらすること

テストで「音名を答える」問題が出たら、

【下準備】

- ① 問題用紙のはじめに「ドレミファソラシド」を書く。
- ② は=ド でそろえて、「いろはにほへと」をドレミファソラシドにあわせて書く。（「はにほへといろは」の順番になるよ）

このメモが問題を解くのにずっと役に立つから覚えておこう！

【ト音記号の楽譜の場合】

- ① 記号の描きはじめの部分が「ト」なので、それを基本に「いろはにほへと」を楽譜の線の横に書き込む。
- ② 音符のある場所が分かったら、はじめに書いておいた「いろはにほへと」と「ドレミファソラシド」のメモを使って、音名を照らし合わせる。



【へ音記号の楽譜の場合】

- ①記号の描きはじめの部分が「へ」なので、それを基本に「いろはにほへと」を楽譜の線の横に書き込む。
- ②音符のある場所が分かったら、はじっこに書いておいた「いろはにほへと」と「ドレミファソラシド」のメモを使って、音名を照らし合わせる。



音楽楽典「音名を答える」練習問題

※この問題では、「音名を答えなさい」という指示になっていますが、これでは日本音名（ハニホヘト）かイタリア音名（ドレミファ）か区別できないことがわかりました。実際学校のテストでは、「イタリア音名（ドレミ・・・）で答えなさい」と書かれている場合もあるようです。

こちらの練習問題での「音名を答えなさい」はイタリア音名（ドレミ）を答えるよう目的で作成しています。

ト音記号の楽譜の問題

1～11の音名を答えなさい。

★答えはへ音記号の問題の下にあるよ



へ音記号の楽譜の問題

1～11の音名を答えなさい。

① ② ③ ④ ⑤

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

ト音記号の楽譜の問題の答え

ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ	ハ
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	ド

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

トヘホニハロイトヘホニ

ド ファ ファ ソ ミ



へ音記号の楽譜の問題の答え

ハ ニ ホ ヘ ト イ ロ ハ
ド レ ミ ファ ソ ラ シ ド

① ② ③ ④ ⑤

ファ レ シ ソ

ロ イ ト ヘ ホ ニ ハ
ド レ ミ

⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

ラ ラ ド シ ソ ファ

ロ イ ト ヘ ホ ニ ハ
ド レ ミ

Detailed description: The image shows two musical staves in bass clef. The first staff contains four notes: Fa (F), Re (D), Si (B), and So (G). Above each note is a circled number from 1 to 5. The second staff contains six notes: Ra (A), Ra (A), Do (C), Si (B), So (G), and Fa (F). Above each note is a circled number from 6 to 11. To the right of each staff is a vertical legend: the first staff's legend shows 'ロ イ ト' (Do) on the top line, 'ヘ ホ ニ ハ' (E, F, G, A) on the next three lines, and 'ド' (C) on the bottom line. The second staff's legend shows 'ロ イ ト' (Do) on the top line, 'ヘ ホ ニ ハ' (E, F, G, A) on the next three lines, and 'ド' (C) on the bottom line.

